

中国労災病院

臨床実習Ⅱ 実習計画

【当院概要】

呉市の広地区に位置する病床数 410 床・100 余名の医師を擁する急性期病院である。

救急・周産期・高度専門的医療を 3 本柱として日々の診療を行っている。

平成 28 年度の救急件数は年間 15,000 件、救急搬送件数 3,600 件、ドクターヘリ搬送 35 件と救急患者数が極めて多い。

周産期は呉医療センターと当院に集約化され、当院では年間 550 件前後の分娩を取り扱っている。

高度専門的医療に関しては、当院は県のがん診療拠点病院に指定されており、がん治療を病院挙げて積極的に取り組んでいる。

また、当院は地域医療連携拠点病院・災害拠点病院にも指定されており、幅広く多彩な症例を経験できると考える。

当院は呉のみならず広島を代表する病院の一つであり、研修医の人気も高い。

【一般目標】

- ① 医療者の一員として診療に従事することで、医師としての責任感、思考法および診療態度などを学び、チーム医療の重要性を理解すること。
- ② 治療（特に侵襲的治療の場合）を始める際には、説明と同意（IC）が基本となる。IC の重要性を理解し将来実践できるように対応すること。
- ③ 基本的診療手技とコミュニケーション技術を身につけ、患者および家族の訴えに耳を傾け良好な関係を築くことが出来るように努力すること。
- ④ 病気だけにとらわれず、患者や家族が抱える問題を理解し、全人的医療が出来る医師を目指すこと。
- ⑤ 実際に患者や家族と接することで、将来の医師としてのあるべき姿を考え、それに向けて努力すること。
- ⑥ 日本の医療を支える保険診療に目を向け、保険診療の意義を理解すること。

【到達目標】

- ① コミュニケーションを通じ、患者・家族および他職種と良好な人間関係を築くことができる。
- ② 基本的な診療知識に基づき、患者および家族から診療に必要な情報を収集し、取捨選択して整理できる。

- ③ 身体診察を行い、所見をもとにその後の診療に必要な情報を収集できる。
- ④ 主要な症候を理解し、鑑別診断の原則に基づき診療計画を立案できる。
- ⑤ 収集した情報をもとに問題志向型診療記録（POMR）を作成できる。
- ⑥ 症例の情報を他の医療関係者が理解できるよう、要約することができる。
- ⑦ 診療に必要な知識や情報を検索・収集し、EBM に沿った治療を理解できる。
- ⑧ チーム医療の重要性を理解し、役割分担・連携・責任の所在をはっきりさせ、チームの一員として医療に参加できる。

【注意事項】

- ① 端正な服装を心掛け、清潔な衣服や白衣を着用する事。ネームプレートをつけること。
- ② 患者さんや他の医療スタッフと接する際には、礼節を保ち、態度、言葉使いに気を配ること。特に挨拶は極めて大事である。
患者さんと接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- ③ 医療者には守秘義務がある。診療上知り得た患者や家族の情報を他に漏らしてはいけない。個人情報管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。
- ④ 欠席・遅刻の場合は必ず届け出ること。
- ⑤ 病院としての最大同時受け入れ人数は、2名。希望が重複し2名を超える場合は、広島大学にて調整を行い2名以内でお願いします。
- ⑥ 整形外科、脳神経外科、放射線科の4週間型は、2週間型の繰り返し。
シラバスは、2週間型のみ添付。4週間型のシラバスは、2週間型の繰り返しとなるため、2週間型を使用。

いろいろと堅苦しい目標や注意事項を掲げましたが、学生諸君が一人前の医師になる事が出来るよう実習を通して手助けをしたいと考えています。

実りある実習になる事を期待しています。

また、中国労災病院のホームページを一度ご覧になる事をお勧めします。

【実習責任者】

副院長・実習管理委員長 大屋 敏秀

【連絡先】

〒737-0193

呉市広多賀谷 1-5-1 中国労災病院 総務課 田中

TEL 0823-72-7171

FAX 0823-74-0371